

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和3年度～令和7年度）
研究開発課題名	電荷反転型LNP製剤の精密設計と核酸・ペプチド医薬品開発への応用
代表機関名	静岡県立大学
研究開発代表者名	浅井 知浩

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、電荷反転型、PEG-free など独自性の高いLNP 技術について、当初計画を着実に推進し、成果の創出と特許出願につなげている点が評価できる。また、課題間連携を通じて多様な創薬シーズの製剤化に対応し、各シーズの研究開発の促進に寄与してきた。国産創薬シーズの実用化を支える基盤 LNP 技術となり得る意義の高い研究であり、継続性・発展性も認められる。

今後は、実用化・社会実装に向けた研究開発をさらに推進し、従来の LNP 技術に対する本技術の優位性を明らかにして、幅広い創薬シーズに活用可能な汎用的送達技術として発展していくことを望む。

以上